

第3期の連携事業一覧

資料No.2

連携事業（第3期）		重点的に取り組む5つの視点 ※					第3期事業概要 ※上段黒字：事業概要 下段朱書き：5つの視点を取り入れたポイント
こども	行り	災害	交流	人材			
1	とやま呉西圏域都市圏ビジョン推進事業	○	○	○	○	○	圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づく具体的取組等を定める都市圏ビジョンの推進を図る。 全ての連携事業について、重点的に取り組む5つの視点から進捗管理を実施する
2	とやま呉西圏域共創ビジネス研究所運営事業		○			○	地域課題を地元中小企業のビジネスにつなげることで、民間活力による住民サービスの向上と地元中小企業間の「共創」による活性化を図ることを目的に、主に富山大学と連携したゼミ形式の講座を運営する。 講座を通じて生まれた修生生の取組等が圏域内で共有・展開されるよう、6市でのフォロー体制を整える。（修生生の取組の見える化・発信力強化）
3	起業・創業支援事業		○				圏域における起業・創業の拡大に向け、圏域での一体的なサポート体制を構築するとともに、圏域内M&Aを見据えた事業承継に係る普及・啓発を含め、新たな掘り起こしを図るための関連情報の発信に取り組む。 起業を希望する方と事業承継に悩む方とのマッチングに向けた取組を実施
4	異業種交流促進事業		○				圏域内企業のビジネスチャンスを広げるため、ビジネスマッチングを目的とした各種展示会への出展等を通じて、圏域内の企業交流や、都市圏企業との新たなビジネスマッチングの実現に向けた機会創出に取り組む。 圏域内企業に対し、販路拡大や新事業連携、ビジネスマッチングに関する成功事例の共有を図る取組を実施
5	ものづくり開発人材育成事業		○				圏域内にある高度専門的な研究機関施設の情報や活用事例の共有を図るとともに、企業による共同研究・開発や次世代技術に係る人材育成の促進を図ること、ものづくり開発人材の育成強化につなげる。 当該施設を民間企業等が活用した事例をアーカイブとして整理し、圏域内で相互活用できるよう連携する
6	伝統産業連携PR事業	○					圏域内における伝統産業の魅力を広く伝えるため、伝統産業製品の展示・販売に加え、製作体験等を通じた触れて学ぶ機会を創出するなど、一体的なPRに取り組む。 圏域内の伝統産業の拠点施設をめぐる子ども向けの企画（スタンプラリー等）を実施し、小中学生が楽しく伝統工芸品の魅力に触れ、学べる機会を設ける
7	呉西圏域ブランド育成事業		○				圏域の農林水産業の振興に向け、地場農産物の魅力の発信と圏域内の消費拡大を図る。 各市で1品目選定した食品を使った特別給食メニューを6市で提供するなど、圏域の農産物のさらなる認知度向上を図る
8	呉西観光誘客推進事業 （1）インバウンド等向けの観光商品開発				○		さらなる観光誘客を図るため、圏域の多彩な観光資源（自然・文化・産業遺産等）を活用したPRを実施する。 北陸新幹線敦賀開業や北陸デスティネーションキャンペーンの効果の持続のため、連携した観光プロモーションやインバウンド等に向けた各市の強みを活かした旅行商品の開発
	呉西観光誘客推進事業 （2）観光マーケティングの強化						6市で連携したデータの収集・分析による効率的な観光マーケティングを実施する。 6市それぞれが持つ地域の魅力を発掘・集約し、観光客のニーズに合わせた体験プランなどを提供する
9	高度な医療サービス連携事業	○	○				がんや循環器疾患、脳卒中、糖尿病など生活習慣病に代表される慢性疾患など、様々な疾病に対する高度な医療サービスの提供や小児科救急を含む2次救急輪番体制を維持するため、公的機関や民間病院などが連携し、それぞれの機能に合わせた役割分担を図りながら、サービスの維持・向上や人材の育成・確保につなげる。 高岡医療圏においては、高岡市民病院における小児科救急を含む2次救急輪番体制の維持
10	広域的公共交通ネットワーク強化事業	○					安全で持続可能な公共交通の実現に向け、将来のまちづくりに関わる子ども等に向けたマイレール意識や愛着の醸成を図るとともに、城端線・氷見線沿線地域公共交通計画等に基づく各種施策の展開により、鉄道を骨格とした公共交通ネットワークの活性化を図る。 城端線・氷見線に親しんでもらい、マイレール意識や愛着の醸成を図るため、沿線イベントとタイアップした子ども向け企画を実施
11	広域的な課題解決に向けた大学との連携の推進	○	○	○	○	○	圏域として新たな視点を取り入れ重点的に取り組む広域的な課題又は共通課題の解決に向けた調査研究及び各大学が取り組む学生が主体となった地域課題解決に向けた研究や富山県内7高等教育機関が連携し実施している取組のうち、複数の自治体にまたがる事案について、共同して対応する。 調査研究項目の選定、採択にあたり重点的に取り組む5つの視点を考慮する

第3期の連携事業一覧

資料No.2

連携事業（第3期）		重点的に取り組む5つの視点 ※					第3期事業概要 ※上段黒字：事業概要 下段朱書き：5つの視点を取り入れたポイント
連携事業（第3期）		こども	行り	災害	交流	人材	
12	看護人材確保事業	○					圏域の地域医療に貢献できる資質の高い看護人材を確保するため、富山県高岡看護専門学校との定員を充足し、多くの卒業生が圏域内で看護師として働きたいと思えるよう取り組む。また、圏域内外を問わず大学・専門学校等で学ぶ看護学生が圏域内で就職できるよう、医療機関のPRやマッチングを支援する。 ・修学資金制度対象者等へニーズ調査を実施し、修学資金の弾力的な運用方法を検討 ・学生に対する圏域内医療機関のPR活動や学生と医療機関とマッチング事業等の実施
13	人間ドック・特定健診推進事業		○				人間ドック及び特定健康診査の啓発活動や事業改善に向けた調査・研究を行う。
14	呉西地区成年後見センター運営事業		○				圏域の中核機関として、相談から後見まで一貫した支援ができる成年後見センターを運営するため、各市の社会福祉協議会や関係団体等との連携強化を図る。
15	こども福祉支援相互連携事業	○	○				保育士等を対象とした研修会や派遣を通じ、児童発達支援に係る人材育成を図る。 受講者のニーズに合わせるため受講者アンケートの実施
16	ICT教育環境に関する調査・研究事業	○					ICTを活用した教育環境の整備を図るため、各市の取組状況や先進事例等を6市間で共有するとともに、授業改善に向けた取組について調査・研究を進める。 子どもの主体性を引き出し学び合いを推進するICT教育の活用手法を取り入れた事業を展開する
17	歴史文化の学び交流事業		○				住民一人ひとりが、圏域内の各地域の魅力を再認識し、郷土愛を育むことができるよう、各地域の歴史や文化を身近に感じ、深く学ぶ機会を創出する交流講座の実施や合同企画の検討を行う。 他市の受講者がその地の歴史や文化を身近に感じ、深く知ることができるような現地学習機会を創出する
18	スポーツ交流人口拡大推進事業	○	○				スポーツの振興を通じて地域の活性化を図るため、各市で開催されるスポーツ大会、イベント等の連携強化や各市のスポーツ施設の相互利用の促進により、圏域内外のさらなる交流を図る。 小中高校生を対象にしたスポーツ交流を促進するイベントを企画・実施する。 ※「県版スポーツコミッション」で合宿誘致等を行うこととなったため見直し
19	健康づくりでおでかけ促進事業	○	○				地域振興に資する活力を維持・促進するため、健康づくりに関心がある人や子育て世代をはじめとする圏域住民の健康づくりに向けた外出の機会を創出する企画及びPRを検討する。 ・6市共同運営ポータルサイトを廃止し、SNS等での効果的な情報発信へ切り替える 子育て世帯向けのインセンティブ付与を追加
20	企業誘致の一体的推進事業 （１）企業立地フェア等への出展	○					圏域への企業誘致を促進するため、展示会への出展等をとし、圏域の優位な立地環境のPR等に一体的に取り組む。 呉西主催のビジネス交流交歓会の運営から企業立地フェア等の既存イベントへの出展参加へ切り替える ★県との連携検討中
	企業誘致の一体的推進事業 （２）立地動向調査						圏域への企業誘致を促進するため、企業の立地動向やニーズ把握を目的とした調査を実施する。 ★県との連携検討中
21	就業マッチング支援事業	○	○				圏域内企業の人材確保や定着に向けて、企業の採用力向上をサポートするほか、大学等との連携を踏まえた企業と学生や求職者とのマッチング機会の創出や、UIターン就職支援による圏域定着の促進に取り組む。 ・大学等とタイアップし圏域内企業の周知等支援 ・アンケートの実施、結果に基づく企業の参加調整 ★県との連携検討中

第3期の連携事業一覧

資料No.2

連携事業（第3期）		重点的に取り組む5つの視点 ※					第3期事業概要 ※上段黒字：事業概要 下段朱書き：5つの視点を取り入れたポイント
こども	行り	災害	交流	人材			
22	広域防災連携事業 （1）地区防災強化に向けた防災士育成						圏域内で連携して地域の防災リーダーとなる防災士を育成し、地区防災計画の推進や、自主防災組織の活動の支援・活性化による防災力の強化を図る。※重点的 取組みを強化した内容として統合 ・男女共同参画の視点から防災を推進するため、防災活動に取り組んでいる 女性 防災士等を講師とした講習 等の実施 ・災害時における外国人支援のため、外国人支援ボランティア等を講師とした講 習等の実施
	広域防災連携事業 （2）災害備蓄及び防災備品等情報 連携						隣接市の住民の避難に際し、市域を超えた避難所への受入れを行うとともに、各 市が最大規模で被災することを想定して作成した災害備蓄計画を基に、圏域の災 害備蓄計画を策定し、主に資機材及び備品の連携備蓄を図る。 重点的取組みを強 化した内容として統合 女性や子供、高齢者等、多様なニーズに対応できるよう災害備蓄品の充実を図 る。 各市の備蓄状況を圏域間で共有し、融通し合う体制づくりを整えることで、円滑 かつ迅速な被災者支援に努める。
23	鳥獣被害防止対策事業						農林水産物被害の減少を図るため、先進的な取組の共有や効果的な対策の検討な ど圏域各市による鳥獣被害対策の情報交換により、圏域全体で被害対策に取り組 む体制を整備構築する。 野生鳥獣の出現傾向について情報共有
24	環境と共生する社会経済形成事業						圏域の山から海に至る環境保全活動（啓発・学習活動、体験活動、成果還元活動 等）を推進する。 ①とやま環境フェアで こどもが主役となるコンテンツを含めたブースを出展 する ② こども・親子が参加できる環境保全・啓発イベント を開催する
25	生活関連機能相互連携事業						圏域各市の生活関連機能・サービスに係る相互連携の推進を図る。 一般廃棄物処理に係る各市現状や課題について情報を共有。
26	地域公共交通活性化事業						圏域住民の日常生活の足として利用される地域公共交通を維持するため、マイ レール意識の醸成を図るとともに、存続に向けた課題整理や調査・研究等を実施 する。 万葉線に親しんでもらい、マイレール意識や愛着の醸成を図るため、親子向けイ ベントを実施する
27	移住・定住トータルサポート事業						圏域内への移住・定住者数の増加に向けて、生活圏としての圏域の魅力発信や相 談体制などの総合的支援の強化、都市部との交流促進に関する取組の展開を図 る。 ・ こども・外国籍等の方を対象にした情報発信に取り組む ・ 県のオンラインセミナーの枠組みを活用し、生活圏としての圏域の魅力発信に 取り組む ★県との連携検討中
28	効率的な職員研修事業						複雑化・多様化する行政課題に対応するため、圏域内の職員の素養やスキルアッ プにつながる研修を効率的に実施する。
29	公共施設マネジメント推進事業						各市の公共施設の総量適正化を図るため、広域的な利用が見込まれる施設の利用 実態や再編見直しに関する情報を共有し、広域的な利用促進策等を検討する。 ・ 施設の相互利用といった行政リソースの効率的な活用を促進するため、スポー ツ施設や文化施設等、広域的な利用が見込まれる施設について、利用実態や再編 見直しに関する情報共有を図るとともに、広域的な利用促進策等を検討
30	地図情報システムデジタル航空写真共同 撮影事業						G I S（地理情報システム）デジタル航空写真撮影及びデジタルオルソ画像を作 成することにより、土地及び家屋の現況について、正確かつ効率的に把握し、税 務行政の適正化及び住民サービスの向上を図るとともに、航空写真撮影等の各市 の費用負担を軽減することを目的に業務を実施する。
		14	22	3	3	5	
31	【新規】 保健・医療サービスに係る連携促進事業						将来的な連携を見据えて、保健・医療サービスの分野における各市の状況や課題 を共有し、取組みを検討するための体制を構築する。

※重点的に取り組む5つの視点
『こども』・・・こどももんなか
『行り』・・・行政リソースの効率的な活用
『災害』・・・激化する災害への対応力の強化
『交流』・・・新たな交流・観光施策の展開
『人材』・・・多様な人材が活躍できる環境づくり